

C03 自治体職員のための金融基礎講座(銀行の現状と指定金融機関) R7	
平均所要時間	90 分
対象業務	財政、起債、資金運用、地方公会計、管理職の方
難易度	★☆☆
学習の目的	公金取扱業務、資金調達、資金運用等で地方公共団体と関わりの深い「銀行」について、基本的なビジネスモデルや経営状況、指定金融機関を巡る環境変化等を理解する。社会全体でDX(デジタルトランスフォーメーション、デジタル化による組織や行動様式の変化)が進む中で、指定金融機関が行う地方公共団体の収納・支払業務についても変化の波が及んでいることを理解する。
前提知識	高校卒業程度の経済・金融の知識
学習目標	「学習の目的」と同様
コース構成	1章 金融の仕組み 1:金融とは? [7:44] 金融とは? / 間接金融(銀行) / 銀行法による銀行の定義と業務内容 / 直接金融(証券会社) / 日本の金融機関(主なもの) 2章 金融機関経営の変化 2:銀行のビジネスモデルと経営環境の変化 [7:06] 銀行の事業内容と貸借対照表 / 地銀の貸借対照表の構成比(2024 年3月末) / 預貸率は下げ止まりから上昇へ / 貸出金の利鞘率も反転上昇へ / 国債金利の推移 2章 金融機関経営の変化 3:銀行決算の推移 [9:09] 業務粗利益の推移(地域銀行) / 業務純益の推移(地域銀行) / 総資産経費率の推移(地方銀行) / 銀行別の総資産経費率 2章 金融機関経営の変化 4:金融機関の再編・統合の動き [14:41] 集約化の進展(普通銀行・中小金融機関) / 集約化の進展(農協・漁協) / 地方銀行・第二地方銀行の再編・統合 / 公的資金注入行の動向 / 行政による地銀・第二地銀の再編・統合推進 / 決算データ等の入手方法 3章 資金決済と指定金融機関 5:指定金融機関の位置づけの変化 [23:20] 指定金融機関制度(1964 年～) / 指定金融機関の業態別指定状況 / 指定金融機関のメリット / バブル崩壊と指定金のメリット低下 / 地方銀行から見た自治体取引の問題点 / 金融業界から政府等への陳情・要望 / メガバンクの撤退開始(2019 年～) 3章 資金決済と指定金融機関 6:資金決済デジタル化と指定金融機関制度 [51:24] 総務省通知(2022 年)が示す金融 DX / 公金収納・支払の決済インフラの変遷 / 内国為替制度運営費(2020～21 年) / 公金収納と規制改革会議(2020 年) / 手形交換所廃と電子交換所(2022 年) / eL-QR による地方税電子納付(2023 年) / 指定納付受託者制度(2021 年) / eL-QR による公金納付拡大検討(2023 年～) / 税外公金納付デジタル化のスケジュール / 公金振込・収納関連のまとめ年表 / 指定金融機関と地方自治体の今後